編集後記・Editorials

魚類学雑誌 62(1): 98–98
2015 年 4 月 25 日発行

魚類学雑誌の前主任の古屋康則氏から引き継いで，本号から編集主任を担当することになりました．これまで約 5 年間編集委員として活動してきましたが，主任としての業務は，非常に多岐にわたることが今回実感できました．古屋さん，5 年間の主任業務，お疲れ様でした．最初は不慣れなことも多く，手際よく編集作業が出来たとは思えませんが，なんとか無事に魚類学雑誌 62 巻 1 号をお届けすることができました．

さて，本号ですが，原著論文のほうは，本論文 3 編，短報 2 編とコンパクトなものとなりました．その一方で，書評や会員通信など，会員向けの記事は充実した内容となっていると思います．特に，走りだした ABS 問題に関する解説記事は，すべての会員の方に是非ご一読いただきたいと思います．ABS 問題は，直接標本を扱う分類学者はもちろんのこと，生態・行動の研究者などほとんどすべての魚類研究者に広く影響を及ぼすことが考えられるためです．また，雑誌の表紙を飾る本号のカラー写真（オニイシモチの生態写真）はいかがでしょうか．今回も複数の応募の中から編集委員の投票によって選定されたものです．本種は比較的深場に生息し，SCUBA 潜水をされる方でもなかなか見ることはできないため，きわめて貴重な写真だと思います．

ところで，以前の編集後記で古屋前主任も書かれていたことですが，編集作業をする身としては，毎号たくさんの原著論文と記事で，予算いっぱいの号をつくれた方がうれしいわけです．そのための一つの試みとして，本号に掲載された論文からカラー印刷料金を変更いたしました．これは，会員の皆様がカラーページを利用しやすくするため，学会からの補助予算を使うことにより，比較的低コストで，枚数の制限なく希望するすべての図をカラーにできる制度です．皆様からのこれまで以上の積極的な投稿をお待ちしております．また，今後，新たなシリーズの企画や投稿・査読・出版プロセスの迅速化や効率化など編集委員会内で検討していこうと考えている事案もいくつかありますので，会員のための雑誌としての魚類学雑誌をさらに盛り上げていただきたく宜しくお願いいたします．

（小北智之）